橋渡し研究プログラム　事後評価対象課題（令和7年度事後評価対象課題一覧）

通し番号	橋渡し研究支援機関	研究開発課題名	研究開発代表者名	代表者所属機関	役職
preF（非臨床POC取得に必要な試験パッケージの策定を目指す課題）					
1	北海道大学	粘膜再生に最適化した生体吸収性組織再生デバイスの開発	宮下 武憲	香川大学	准教授
2	筑波大学	T/NK前駆細胞を用いた神経芽腫に対するCAR-NK細胞療法の開発	伊川 友活	東京理科大学	教授
3	筑波大学	睡眠中の音刺激によるPTSDの新規治療法の開発	坂口 昌徳	筑波大学	非常勤研究員
4	筑波大学	アルツハイマー病の原因蛋白を標的とした糖鎖修飾Glucagon-like Peptide-1誘導体点鼻薬の開発	山下 親正	糖鎖工学研究所	サイエンスフェロー
5	国立がん研究センター	腫瘍微小環境の代謝システムを制御する次世代代謝阻害剤の開発	大澤 毅	東京大学	准教授
6	国立がん研究センター	がん緩和医療及びがん支持療法拡充のための依存性の無い強力な非麻薬性オピオイド鎮痛薬の開発	成田 年	星薬科大学	教授
7	国立がん研究センター	膠芽腫に対する新規賦活化機構実装CAR-T細胞療法の開発	渡邊 慶介	国立がん研究センター	主任研究員
8	東京大学	骨癒合特化型iPS細胞由来血小板製剤の開発	志賀 康浩	千葉大学	特任准教授
9	東京大学	組織幹細胞制御技術による革新的毛髪再生医薬の開発	西村 栄美	東京大学	教授
10	慶應義塾	クロスリアリティ技術を用いた運動錯覚誘導による感覚運動麻痺治療のための医療機器開発と臨床実証	金子 文成	東京都立大学	教授
11	慶應義塾	炎症性神経疾患における病勢診断手法の開発	高橋 慶太	横浜市立大学	講師
12	慶應義塾	胃の疾患の原因となるヘリコバクター・スイス感染の血清診断製品の開発	林原 絵美子	国立感染症研究所	室長

橋渡し研究プログラム　事後評価対象課題（令和7年度事後評価対象課題一覧）

通し番号	橋渡し研究 支援機関	研究開発課題名	研究開発 代表者名	代表者所属機関	役職
13	名古屋大学	がん間質の線維芽細胞を介したバイスタンダー効果を実現する抗体薬物複合体の開発	榎本 篤	名古屋大学	教授
14	京都大学	狭小空間内の創傷治癒を目的とした新しい概念の被覆材の開発	武井 孝行	鹿児島大学	教授
15	京都大学	高圧殺細胞装置を用いた骨悪性、良性、良・悪性境界領域腫瘍に対する新規自家処理骨再建治療に関する研究開発	森本 尚樹	京都大学	教授
16	大阪大学	アスタチン標識ナノ粒子の腹腔内投与による腹膜播種のアルファ線治療の開発	加藤 弘樹	大阪大学	特任教授
17	大阪大学	感染を有する足部創傷に対する新規治療法の開発	三宅 啓介	大阪大学	助教
18	岡山大学	膵癌に対する核酸製剤の非臨床安全性試験を実施するための実施計画書確定と体制構築	谷内 恵介	高知大学	准教授
19	岡山大学	がん抗原特異的細胞性免疫を惹起するデザイナーエクソソームの開発	華山 力成	金沢大学	教授
シーズB（非臨床POC取得を目指す課題）					
20	筑波大学	角膜実質治療のための長期保存可能な脱細胞化透明ブタ角膜実質の開発	岸田 晶夫	東京科学大学	プロジェクト教授
21	慶應義塾	iPS細胞由来グリオジェニック神経前駆細胞を用いた慢性期脊髄損傷に対する細胞移植療法の研究開発	名越 慈人	慶應義塾大学	専任講師
22	岡山大学	家族性大腸腺腫症に対する治療ワクチンの開発	西山 成	香川大学	教授

橋渡し研究プログラム　事後評価対象課題（令和7年度事後評価対象課題一覧）

通し番号	橋渡し研究 支援機関	研究開発課題名	研究開発 代表者名	代表者所属機関	役職
シーズC（臨床POC取得を目指す課題）					
23	北海道大学	経食道運動誘発電位に用いる刺激電極の開発	椎谷 紀彦	函館医療センター	院長
24	東北大学	新規デバイスを用いた内視鏡的胆嚢ドレナージの治験計画の立案と実施	奥薗 徹	東北大学	学術研究員
25	筑波大学	初発悪性神経膠腫に対する新型高出力中性子線源を用いたホウ素中性子捕捉療法の安全性試験	櫻井 英幸	筑波大学	教授
26	名古屋大学	拡張型心筋症に対するテイラーメイド方式心臓形状矯正ネットの医師主導治験	秋田 利明	名古屋大学	特任教授
27	岡山大学	Injectable cell scaffold (ICS-001) を用いた革新的血管新生療法の開発	山原 研一	兵庫医科大学	研究教授
28	九州大学	全身性強皮症の血管障害への新治療薬による医師主導治験研究	後藤 瑞生	大分大学	准教授